

講演会を開催します（3/2 14:00～16:00） 「PD-1 とがん ～免疫療法の新境地を開いた分子～」

第25回関西館小展示「人体ワンダーランド ～からだをめぐる冒険いまむかし～」の関連イベントとして、石田靖雅氏（奈良先端科学技術大学院大学准教授）をお招きし、講演会「PD-1 とがん ～免疫療法の新境地を開いた分子～」を開催します。

1992年に石田氏が学会誌に発表したPD-1はその後研究が進められ、がんの新たな免疫療法や本庶佑氏の2018年ノーベル医学・生理学賞受賞へつながっています。

○概要

日時：平成31年3月2日（土）14:00-16:00

会場：国立国会図書館関西館 第1研修室（1階）

定員：70名（先着順）

申込方法：WebフォームまたはFAXで申込み

URL：http://www.ndl.go.jp/jp/event/events/kansai_20190302.html

○講師紹介

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 准教授 石田 靖雅 氏

- ・1987年に京都大学大学院医学研究科博士課程に進学し、本庶佑研究室に所属。1991年3月、京都大学で博士（医学）を取得。
- ・1992年、PD-1（Programmed cell death 1）を学会誌に発表。
- ・2014年9月、「PD-1抗体によるがん免疫療法の発見」でJCA-CHAAO賞（日本癌学会）を受賞。



○講師から

PD-1は免疫反応を抑えるブレーキ役として機能するタンパク質で、体内の免疫機構に深く関わっています。また、PD-1に関する知見は世界各国でがん治療のために応用されています。私は免疫細胞による「自己-非自己」識別機構に迫りたいと思い、京大の本庶研究室にて実験を行い、たった1つのPD-1遺伝子にたどり着きました。今回の講演ではPD-1の発見経緯と研究展開の課題についてお話しします。